



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社JMS

コード番号 7702 URL <http://www.jms.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥窪 宏章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長

(氏名) 遠藤 正樹

TEL 082-243-5844

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日

平成28年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	27,526	△2.2	592	13.2	699	62.5	409	42.2
28年3月期第2四半期	28,147	7.2	523	—	430	200.9	288	296.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1,270百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △129百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第2四半期	8.41	—
28年3月期第2四半期	5.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	62,404		29,335			46.8
28年3月期	65,174		30,907			47.2

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 29,219百万円 28年3月期 30,790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
29年3月期	—	4.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	56,000	△2.8	1,100	△22.7	1,200	△4.2	900	19.3	18.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	49,466,932 株	28年3月期	49,466,932 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	726,251 株	28年3月期	723,387 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	48,742,090 株	28年3月期2Q	48,752,130 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く環境は、海外においては、新興国を中心に医療機器市場の成長が続いているものの、各国メーカーとの競争は更に激しさを増しています。また、国内においては、医薬品医療機器等法が制定され、異業種からの新規市場参入が加速すると共に医療機器に対する安全性や品質等への要求が一層強まる一方で、少子高齢化の進展、国家財政及び医療保険財政の深刻化を背景に、薬価・材料価格を引き下げ、医療費全体の伸びを抑える医療政策が継続しています。

このような環境の中、当社グループは、「かけがえない生命のために」の創業精神の下、「医療を必要とする人と支える人の架け橋となり、健康でより豊かな生活に貢献することですべての人々を笑顔にする」ことを目指して、製品の開発、生産、販売を進めると共に、経営の品質と企業価値の向上に努めております。事業活動としましては、販売品目を4つのシステム群に分類し、輸液輸血群及び一般用品群では、医療の安全に貢献する輸液及び経腸栄養関連製品を、透析群では、医療の効率化に資する血液透析及び腹膜透析の両分野の製品を、循環器群では、膜型人工肺、人工心肺回路等の高付加価値製品を中心に、製品の開発・生産・販売を進め収益拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、円高による円貨換算額減少の影響により、前年同四半期に比べ6億21百万円減少の275億26百万円（前年同四半期比2.2%減）となりました。

利益につきましては、大型投資にかかる償却負担の増加等があるものの、高付加価値品の販売増加により、営業利益は5億92百万円（前年同四半期比13.2%増）となりました。また、持分法による投資利益を計上したこと等により、経常利益は6億99百万円（前年同四半期比62.5%増）となり、税金費用等を差し引いた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億9百万円（前年同四半期比42.2%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①日本

経腸栄養システム製品の販売が増加したため、売上高は207億76百万円（前年同四半期比2.6%増）となりました。また、セグメント利益については、償却負担の増加等があるものの、増収効果により黒字となり、前年同四半期に比べ5億19百万円増加の3億12百万円となりました。

②東南アジア

北米向けの成分献血用回路の販売が好調に推移したものの、円貨換算額の減少により売上高は91億26百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。また、セグメント利益については、販売価格の低下等により3億円（前年同四半期比29.3%減）となりました。

③中国

日本向けの輸液セットの販売が増加したものの、円貨換算額の減少により売上高は19億91百万円（前年同四半期比0.01%増）にとどまりました。一方で、セグメント利益については、現地通貨ベースの増収効果等により黒字となり、前年同四半期に比べ2億31百万円増加の1億94百万円となりました。

④ドイツ

ドイツ国内向けのA V F針（血液透析用針）の販売が増加したものの、円貨換算額の減少により売上高は15億57百万円（前年同四半期比2.9%減）となりました。また、セグメント利益については、為替による外貨建ての仕入取引にかかる原価の増加により94百万円（前年同四半期比30.3%減）となりました。

⑤アメリカ

北米向けのA V F針の販売が減少したため、売上高は11億70百万円（前年同四半期比26.6%減）となりました。また、セグメント利益については、減収の影響により45百万円（前年同四半期比20.4%減）となりました。

⑥その他

売上高は8億25百万円（前年同四半期比13.8%減）、セグメント損益については、前年同四半期に比べ2億11百万円減少の3億27百万円の損失となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ27億69百万円減少の624億4百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ12億81百万円減少の339億24百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の減少であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ14億87百万円減少の284億80百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の減少であります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ27億39百万円減少の190億4百万円となりました。この主な要因は、設備関係支払手形の減少であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ15億41百万円増加の140億63百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の増加であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ15億71百万円減少の293億35百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定の変動によるものであります。

なお、自己資本比率は0.4ポイント低下の46.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前年同四半期末に比べ11億53百万円増加の52億64百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ8億77百万円増加の23億99百万円となりました。この主な要因は、仕入債務の増減額によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、前年同四半期に比べ5億92百万円増加の37億72百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得にかかる支出の増加によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ76百万円減少の11億41百万円となりました。この主な要因は、借入金の収支差額によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日付けの「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表しました平成29年3月期（通期）の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成29年3月期第2四半期連結累計期間における業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,927	5,217
受取手形及び売掛金	15,714	15,352
有価証券	57	53
商品及び製品	6,928	6,572
仕掛品	2,149	2,302
原材料及び貯蔵品	3,371	3,160
その他	1,135	1,334
貸倒引当金	△78	△70
流動資産合計	35,205	33,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,601	8,926
機械装置及び運搬具（純額）	8,238	8,689
その他（純額）	7,319	6,151
有形固定資産合計	25,159	23,767
無形固定資産	508	510
投資その他の資産		
投資その他の資産	4,303	4,206
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,299	4,202
固定資産合計	29,968	28,480
資産合計	65,174	62,404

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,564	8,359
短期借入金	3,990	4,367
1年内返済予定の長期借入金	2,140	1,684
未払法人税等	157	218
製品保証引当金	9	8
賞与引当金	1,091	1,090
その他	5,790	3,275
流動負債合計	21,744	19,004
固定負債		
長期借入金	10,457	12,048
役員退職慰労引当金	91	79
退職給付に係る負債	661	632
資産除去債務	235	226
その他	1,076	1,077
固定負債合計	12,522	14,063
負債合計	34,266	33,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,362	10,362
利益剰余金	12,618	12,735
自己株式	△280	△281
株主資本合計	30,111	30,227
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	370	289
為替換算調整勘定	308	△1,297
その他の包括利益累計額合計	678	△1,008
非支配株主持分	117	116
純資産合計	30,907	29,335
負債純資産合計	65,174	62,404

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	28,147	27,526
売上原価	20,998	20,363
売上総利益	7,149	7,162
販売費及び一般管理費	6,625	6,569
営業利益	523	592
営業外収益		
受取利息	8	5
受取配当金	15	26
持分法による投資利益	186	124
その他	82	93
営業外収益合計	293	250
営業外費用		
支払利息	66	64
為替差損	166	60
たな卸資産廃棄損	140	—
その他	14	19
営業外費用合計	386	143
経常利益	430	699
特別利益		
固定資産売却益	74	1
投資有価証券売却益	—	0
補助金収入	—	100
特別利益合計	74	101
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	27	17
固定資産圧縮損	—	96
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	27	113
税金等調整前四半期純利益	477	687
法人税、住民税及び事業税	95	210
法人税等調整額	90	60
法人税等合計	185	270
四半期純利益	291	416
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	288	409

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	291	416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81	△81
為替換算調整勘定	△502	△1,605
その他の包括利益合計	△421	△1,687
四半期包括利益	△129	△1,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△124	△1,269
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	477	687
減価償却費	1,311	1,463
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	43	20
受取利息及び受取配当金	△24	△32
支払利息	66	64
為替差損益 (△は益)	179	370
持分法による投資損益 (△は益)	△186	△124
固定資産売却損益 (△は益)	△74	△1
固定資産廃棄損	27	17
固定資産圧縮損	—	96
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	0
補助金収入	—	△100
売上債権の増減額 (△は増加)	793	△189
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△126	△144
仕入債務の増減額 (△は減少)	△572	△88
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△55	424
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△67	45
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△164	△70
その他	△13	49
小計	1,613	2,487
利息及び配当金の受取額	24	32
利息の支払額	△63	△65
補助金の受取額	—	100
法人税等の支払額	△52	△154
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,522	2,399
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△5
有形固定資産の取得による支出	△3,247	△3,689
有形固定資産の売却による収入	147	1
無形固定資産の取得による支出	△36	△82
投資有価証券の取得による支出	△1	—
投資有価証券の売却による収入	—	0
その他	△42	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,180	△3,772
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	9,393	10,469
短期借入金の返済による支出	△10,273	△10,090
長期借入れによる収入	3,100	2,573
長期借入金の返済による支出	△805	△1,516
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△195	△290
その他	—	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,217	1,141
現金及び現金同等物に係る換算差額	△158	△485
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△598	△717
現金及び現金同等物の期首残高	4,709	5,982
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,111	5,264

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	東南 アジア	中国	ドイツ	アメリカ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	18,103	5,114	775	1,604	1,593	27,190	957	28,147
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,155	5,080	1,216	0	—	8,452	—	8,452
計	20,258	10,194	1,991	1,604	1,593	35,643	957	36,600
セグメント利益 又は損失(△)	△206	424	△36	135	56	373	△115	257

(注) 「その他」の区分は、国内子会社及び韓国の現地法人並びにフィリピンの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	373
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△115
セグメント間取引消去	△3
持分法投資利益又は損失(△)	186
その他の調整額	△10
四半期連結損益計算書の経常利益	430

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	東南 アジア	中国	ドイツ	アメリカ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	18,624	4,549	801	1,555	1,170	26,700	825	27,526
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,152	4,577	1,190	1	—	7,922	—	7,922
計	20,776	9,126	1,991	1,557	1,170	34,622	825	35,448
セグメント利益 又は損失(△)	312	300	194	94	45	946	△327	619

(注) 「その他」の区分は、国内子会社及び韓国の現地法人並びにフィリピンの現地法人の事業活動を含んでおりません。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	946
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△327
セグメント間取引消去	△96
持分法投資利益又は損失(△)	125
その他の調整額	51
四半期連結損益計算書の経常利益	699